

熱中症に注意!

トラックドライバーは炎天下での作業に加え、待機中の車内でも常に熱中症発症の危険と隣りあわせにある。

環境省は熱中症対策として、「涼しい服装・日陰を利用・帽子・水分・塩分補給」を挙げ、特に水分については「塩分が入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよい」としている。

奈良県の運送事業者は、事務所に「塩あめ」を常備し、その隣に100円硬貨を置いている。「ドライバーが手軽に好きなドリンクを補給できるように」という理由からだ。

また、ドライバーは

多少疲れていても無理をする。仕事が終われば水分を摂らせる、身体の不調を感じたら少し休ませるようにするなどの対策を講じなければならぬ。実際、「会社からの声かけによって、体調の自己管理の必要性をドライバーが感じてくれた」といった声もある。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策で知られるヘルスケアネットフーク(OCHIS)では、「健康管理で事故防止ポスター」を販売しており、シリーズの中には熱中症の予防、水分補給、対処法などを解説したポスターもある。そういったものを活用するのみの方法。会社を挙げて、ドライバーの健康と安全管理に取り組むべきだ。

